

後腹膜脂肪肉腫再発予測因子に関する多機関共同観察研究

本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可をうけて実施しています。また、共同研究機関においても、各機関長の許可を得ています。

1. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

主研究機関	京都大学医学部附属病院	泌尿器科	教授	小林恭
共同研究機関	日本赤十字社和歌山医療センター	泌尿器科	部長	伊藤哲之
	静岡県立総合病院	泌尿器科	部長	吉村耕治
	神戸市立医療センター中央市民病院	泌尿器科	医長	山崎俊成

2. 研究の目的・意義

後腹膜肉腫の予後は四肢発生の肉腫よりも不良とされ、根治的手術施行症例の5年全生存率は50-66%と報告されています(脂肪肉腫以外の組織型も含んだデータ)。

今回、京都大学医学部附属病院泌尿器科および多機関共同研究参加施設における後腹膜脂肪肉腫根治手術術後の再発予測因子について後ろ向きに検討する研究です。

これにより再発しやすいと考えられる症例の場合は、手術で腫瘍を取り除くだけでなく放射線治療や化学療法を併用した集学的治療を積極的に検討するなど、今後の治療成績改善を目指す一助となりうると考えられます。

3. 研究実施期間

倫理委員会承認日から2025年3月31日

4. 対象となる情報の取得期間

2011年1月1日～2021年8月31日までの間に、京都大学医学部附属病院泌尿器科および多機関共同研究参加施設において後腹膜脂肪肉腫に対する根治手術を受けた患者さん。

5. 情報の利用目的・利用方法

京都大学大学院医学研究科泌尿器科学教室にて症例調査票を作成し、これを各機関に送付し匿名化されたデータベースに基づき記述します。各機関より収集した匿名化された症例調査票は研究事務局で集計・解析・評価します。

3) 利益相反

利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。また、共同研究機関においても、各機関の規程に従い審査されています。

6) 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

研究内容に関するお問い合わせ先

京都市左京区聖護院川原町 54

京都大学医学部附属病院泌尿器科 特定病院助教 増井仁彦

電話：075-751-3111（病院代表）

京都大学医学部附属病院へ通院中の患者様の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

電話：075-751-4748

E-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp